

東日本大震災被災地支援活動写真展について

1 概要

徳島県は、東日本大震災発災直後から宮城県に人員を派遣し、幅広い支援を展開して参りました。教育分野及び医療分野の支援活動では、日本航空株式会社及び全日本空輸株式会社の輸送協力をいただき、支援活動に当たる人員を速やかに派遣することができました。

こうした御協力もあって、教育分野においては、発災後早い段階から宮城県に「児童・生徒の心のケア」「学校再開」等を支援する教職員を派遣し、支援活動を展開しました。

この支援活動を通じて得た絆や教訓は、継続的な被災地との交流や、本県防災教育に活かされてきております。

そこで、震災発生から1年を迎えるにあたり、震災の記憶を風化させず、防災・減災対策につなげていくことを目的に、これまでの教育分野の支援活動や被災地との交流、本県防災教育での取組などについて、医療分野の支援活動と併せて、徳島阿波おどり空港において写真展を開催することといたしました。

2 開催内容

【主催】 徳島県・徳島県教育委員会

【後援】 徳島空港ビル株式会社、日本航空株式会社徳島支店
全日本空輸株式会社徳島支店

【場所】 徳島阿波おどり空港ターミナルビル 1階到着ロビー

【期間】 平成24年3月9日(金)から3月23日(金)まで

【写真展の構成】

- 徳島県教育委員会による教育分野支援活動
- 徳島商業高校と宮城県女川町立女川第二小学校との交流活動
- 未来の地域防災の担い手を育てる、県立高校「防災クラブ」の取組
- 徳島県による医療分野支援活動

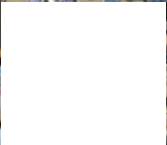
展示枚数 60枚

※写真展開催期間中、徳島一長沙便が2度離発着することから、写真の説明には中国語訳も記載いたします。

東日本大震災支援活動写真展

期間：2012. 3. 9 (Fri) ~ 23 (Fri)

場所：徳島阿波おどり空港到着ロビー



徳島県の教育分野及び医療分野の支援活動では、日本航空(株)及び全日本空輸(株)に輸送協力をいただきました。

2011年3月11日14時46分18秒(日本時間)宮城県牡鹿半島の東南沖130kmの海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。

地震の規模は、日本における観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、東北地方、関東地方の太平洋沿岸は大津波に襲われ、死者・行方不明者が1万9千人余りを数える大きな被害をもたらしました。

徳島県では、地震発生直後から宮城県を中心とした被災地に人員を派遣し、幅広い支援活動を展開しました。また、今回の支援活動を契機に、被災地との交流や防災教育への取り組みが進んでいます。

主催：徳島県 徳島県教育委員会

後援：日本航空(株) 全日本空輸(株) 徳島空港ビル(株)